

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月 31 日

事業所名 (株)ふぁみふる ふれみあむ原

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		広さは規定以上ある。 2.47㎡/一人	
	2	職員の配置数は適切である	○		子どもの人数に対して 規定以上配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		車イス対応のトイレや手すり等設置している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日出勤しているスタッフ全員でPDCAサイクルに参画している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートは本心が記入し易いよう無記名で投函できるよう返信用封筒を同封するなど工夫している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		必ず公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		毎月おこなっている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月研修をおこなっている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		適任者によるアセスメントやモニタリングを随時行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントシートを活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎日のミーティングにより確認している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		ミーティングにより全員が意見を出し合える状態にしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		時間の流れによって一日のスケジュールを立案している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		集団、個別で行う活動を組み合わせ計画を立てている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		打ち合わせはその日の支援員全員で行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		ミーティングにより全員でおこなっている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		ミーティングの際の記録は毎日必ずとっている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		適任者が行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		PDCAサイクルに基づいて行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		適任者が行っている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		トラブルが発生した際、速やかに連絡し合えるよう日頃から学校等と情報を共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		主治医の連絡先や発作時の対応等、細かく保護者と確認し合っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		低学年の利用がないため行っていないが、今後低学年の利用があれば保育園等との情報共有を図りたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		保護者の了承を得て、卒業生の情報等共有している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて機関センター等の助言を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		地域交流は特に行っていないが、要望があれば行ってきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		地域交流は特に行っていないが、要望があれば行ってきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時など、保護者に日頃の様子を伝えるとともに自宅での様子や課題など聞くようにしている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		ペアレント・トレーニングは行っていない。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時、運営規定、支援内容、利用者負担金等説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		その都度保護者と話し、支援員で課題を共有、支援方法を立案している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会等はコロナの影響により今は行っていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情連絡先等掲げ、何か問題があった場合、速やかに連絡するよう保護者に伝えている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付きのキャビネットに保管し、取り扱いには十分に注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		24時間、繋がるメールや電話番号を伝えていつでも連絡が取れるようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナの影響もあり、行事など外部を交えて行っていない。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		定期的に読み合わせ、研修を行っている。	保護者の認知度が低いため、毎月の会報だけでなく送迎時などで直接しらせていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月、子供達も交えて災害時の対応について訓練を行っている。	保護者の認知度が低いため、毎月の会報だけでなく送迎時などで直接しらせていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		やむを得ず拘束する可能性のある場合は事前に保護者に伝え了解をえている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時、アレルギーの有無は記載してもらい、対処している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		毎月ヒヤリハットは作成し、検討会をおこなっている。	